二日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十六
編輯兼發行人　岡田弘吉
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十六
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十六
發行所　磐城時報社
一部金貳錢一ケ月金卅錢
廣告料一行十字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

初陣の平商選手　宮城の優勝校を破る
4A—3
期待に叛かぬ大接戰

郷黨の期待を集めて仙臺澱橋球場に出陣した平商野球選手は二日午前七時入場式に臨み七時半から宮城縣の優勝校宮城縣立工業學校と對戰した。縣工先攻縣工は第一回三者凡退、平商は一番打者佐々木二壘打を飛ばし先づ氣勢をあげ、二番打者高橋亦安打、相澤バンドして走者を三二壘に送り、次打者森を迎えて平商絶好のチャンスを得たが時降雨激しく止むなく試合を中止した。

試合は午前十一時二十分開始二回裏トップバッター赤坂君四球に出で後援によつて一点を先○三回表縣工一點を入れ同点となり、五回表縣工又二点を加え三對一となつたが、六回裏平商二死走者二三壘の時沼田君ヒットを放ち更に投手暴投により一擧三點を加え四對三で平商は先づ宮城縣の優勝校縣立工業を屠つた。

宮城縣工（先攻）
江木司野塚田牛藤藤
近鈴庄今手吉若佐遠
遊右左投三一捕二中
木橋澤　森木坂下田野
佐高相　森鈴赤森沼日
遊左二捕中投三一右

縣工　0 0 1 0 2 0 0 0 0
平商　0 1 0 0 0 3 0 0 A
一二三四五六七八九

4A—3

四倉町議補缺選擧
候補者三名に達せん

四倉町會議員の補欠選擧は來る十五日執行されるが、政友、民政共に一名の候補者を推すものと見られてゐた處案の通り政友系では一日午後七時から幹事會を開き協議の結果豊田耕作氏を推す事に決定。民政派では失格した長谷川寅次郎氏を推す事は既に決定した事でこの外前回選擧に落選した栗原欣次郎氏も敢然出馬するものと察せられてゐる。

磐城丸　海洋調査へ

距岸千マイルに亘る大規模な北太平洋の第二回海洋調査は北海道、靜岡縣間各縣水産試驗場指導船及び國立水試、海軍水路部等聯合の下に五日から一齊に行はれるが、本縣指導磐城丸も五日早朝小名濱港を出發塩屋岬燈臺を基點に距岸千二百マイルの地點までといはれてゐるが、時節柄太平洋上の海流調査は海軍側にとつても重要な役目を行ふものと注目されてゐる。

老爺撲殺事件
喧嘩の原因判明
追はれて苦し紛れの兇行

（昨報）石城郡三坂村大字下三坂屋根職根本常太郎（五一）が三十一日午後一時頃川前村大字川前屋根職伊藤政次郎（六二）を毆打即死せしめた事件は平區裁判所から清田檢事等出張取調べた結果喧嘩の原因は常太郎は嘗て政次郎方に雇はれてゐた事がありその時の賃銀不拂の事から口論となつたが仲直りし燒酎を飲んだ上腕相撲を始めたが勝負の事から立廻りを始め常次郎は戸外に逃げ出したが政次郎に追ひ詰められ苦し紛れに傍にあつた丸太で毆り殺したものと判明した

經濟更生村　錦村の試み

昭和七年度經濟更生村に指定された錦村では三日縣から末原學務部長、小錦、佐藤社會教育主事、目黒縣視學及び内務省囑托富田文雄氏を招き同村小學校で午後一時から一般村民に經濟更生講演、午後三時から村當局、小學校長、經濟更生委員等が經濟更生計畫を基礎としての研究指導をうける。

▲水害見舞金

平町役場金はその後の分左の如く累計三十六圓である。

田町、二丁目各五圓、北白銀町、仲間町各三圓、堤の内一圓、月見町二圓五十錢、大町十五町目三圓五十錢。

水温低下して　鰹全く不況
暖流が來なければ望みがない
中山水産試驗場長談

縣立小名濱水産試驗場の調査によると、ほとんど記錄に見ない黑潮（暖流）の異變から水温著しく低下し北太平洋岸の漁業殊に鰹漁業が稀れに見る大不漁を招來し目下本縣距岸二百マイル以内の地點へ集中出漁中の全國鰹漁船五六百隻が約一週間にわたつて漁獲皆無といふみじめな不漁に遭ひ縣指導船磐城丸も二

仲作漁港工事　愈々浚渫に着手
十一月までには完了

濱通り隨一の漁港として言はれてゐる江名町仲の作漁港は過般來最終工事である船溜り場の浚渫準備を進めて來たが、内務省より借りうけたバケット式浚渫船も來る十五、六日頃到着するので愈々今二日から堀採作業に從事したが浚渫完了は來る十一月頃であらうと。

十六日出港以來一尾の漁獲もなくやむ得ず明三日歸港することになつた。この驚くべき漁況について中山水試場長は語る。

黑潮（暖流）は四月上旬頃北緯三十三度、近邊（靜岡縣沖合）にあつて水温二十度を普通とする處本年は最高十九度で然も三十二度以南に移動、五、六月もその順に狂ひを生じ東北の沿岸では更に間隔が甚しくなつてゐる。例年七月下旬本縣沖合は二十六度乃至二十四五度の水温に成るべきを本年は二十二度といふ稀有な低温で、これが爲鰹の魚群は多いが餌付きが惡くて殆んど釣獲出來ない狀態である。天候の異變も黑潮の變化に原因する處甚大で黑潮が常態に歸ると温もあり天氣もよく成るであらうが、暖流が押し寄せて來ぬ限りこの狀態が相當續くと見る外ない。

入山炭礦で　紫外線浴室

入山炭礦健康保險組合理事長小山田滋氏は三十一日福島市公立福島病院で新設したアリチー紫外線浴室を視察した、同礦務所としては兎角日光に浴する機會の少き坑内從業員に對しこの紫外線を放射し健康增進を圖るため同組合をして紫外線浴室を設備せしめんとするものである。尙福島病院の昨今は瀨の上、飯坂、福島市内等各小學校虚弱兒童への放射後成績絶大となり同市附近各町村小學校からの申込も多く毎日百名以上に達する繁昌ぶりである。

平町内各商店で　就職兒童が實習
夏休みを利用して

平職業紹介所では既報の如く明春卒業就職望兒童中好間校から二十七名、湯本校から十七名、内郷校二名、同家政學校及び平第一校各一名、合合計四十八名のため今夏休を利用し平町内三十二商店に於て實習を試みる事になつたが、更に之が實習後に於ては研究事項として該期間に於て体驗した日常生活、仕事の實際、自己發見、其他氣付いた点などを詳細に亘つて調査し將來就職の便益を計る事になつた

伊東マツノ嬢　けふから開演

平町伊東一氏をマネージャーとする國際レビュー團座長伊東マツノ嬢以下の一團は二日午前十一時平驛着列車で乘込み愈々二日、三日、四日の三日間聚樂館で開演する事になつたが、伊東座長は昨年四月東京劇場に於て川畑文子嬢第一回公開の際助演として出演した名優で、その後滿洲、朝鮮、九洲及び臺灣を巡業し各地で名聲を博した一行である。プログラムには

ダンス、民謡、寸劇、奇術、日本古典舞踊、流行唄、大魔術、その他數十番

見逃せぬ一行である。

平釣友會で　鮒釣り大會

平釣友會では五日大浦村仁井田川で鮒釣り大會を擧行する。當日午前四時平驛前集合自動車で現場に至り甲班は北前から小屋前まで乙班は小屋前から三又までの間で釣競技を行ひ優秀な成績をあげた者には賞品を贈る筈で、會費十錢（雨天の際は十二日に擧行する）

▲四倉校遠足

四倉小學校高等科一學年生約百二十餘名は來る七日午前五時半片野、助川兩訓導引卒の元に大野村八莖銅山に遠足を行ふと。

うちみ
はねつぎ
くじき　專門

正効膏

平町搔槌小路
舊稱
大河內接骨院
醫學士　大河內一郎

初夏

道歩く紳士の足もとは白靴に
かゞやく！
A　先づ何よりも白靴
足も輕けりや心も躍るよ
B　成程麥藁をかぶつて黑靴では
ちよつと……へんだね
斷然安い菊地の白靴一九三四年型に
すると云つてやつたがれ……

四丁目驛通り
既製
自製　菊地靴カバン店
電話六五九番

¥ 1.80 ヨリ
5.00 マデ

東神火災保險株式會社
東京動產火災保險株式會社
橫濱生命保險株式會社
磐城代理店
河田鐵工場
河田梅吉
營業所　福島縣平町禰宜町二
電話三二九番　二九五番
本社　東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部　仙臺市大町三丁目

氷は魚清!!
電話四六七番へ
本店　平二丁目警察署通り
魚清氷卸部
江名町築港內
支店　江名販賣所
電話六九番

內科小兒科
花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平長五〇七

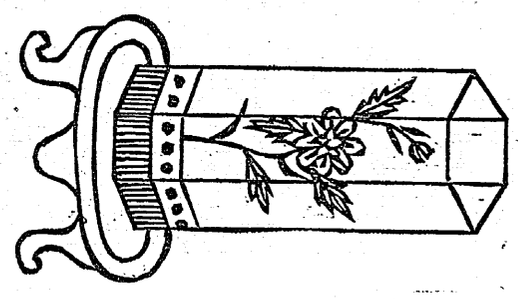
平町の株式店
公社債。株式現物賣買
株式日報御報進呈
營業案內御報參上
平町本町三丁目七十七銀行隣
大谷時計店側
電話七三番
角治株式店

東京株式取引所短期實物取引員
角治商店
電話代表茅場66
東京市日本橋區兜町一ノ四電略(カヌハ)カクヂ

發賣元
新發明　透明障子紙
福島、茨城
宮城、栃木　四縣下一手販賣
平町四丁目
伊勢屋
阿部商店
電話四五番

開業
內科一般
川井內科診療所
川井安子
平町南町六五(舊宅)
電話二四三番

美術花壺
一個
特價十錢
平製
氷
電話二二八・三二六番
暑中の御贈答に!!
御集會に!!
納涼に!!
(一本長サ一尺五寸十錢 六時間は保ちます)
アイデア
花氷



腫物、おでき切らずに治る
ハレモノ良藥　八方散
平一(電六九九)　水野藥局

賣店開業御知らせ
此程皆樣の御すすめに依り
白砂淸松の景勝地に!!
四倉本町海岸に休憩所を
新設しました
海水浴に散歩に御出ましの際は
御立寄を御待ちして居ります
四倉町本町海岸
一品御料理と
名物御土產物は　長谷川出張賣店へ

新車購入御知らせ
暑中御見舞申上ます
此程新車三十四年後期ブイ八型デラックス
セダン優良車を購入致しました
自動車の御用命は電話四倉一三一(イサイ)番を
御呼び下さい!!　新車と共に御待ちして居ります
電話番號はイサイ
賴むと御覺え下さい
四倉仲町
田村屋タクシー
電話一三一番

三百年の歷史を有する
家傳靈藥
馬相ハンサキ消食散
一名かげの藥
平町大町
代理店　丸龜商店
電話一三三番

病室完備
入院應需
外科
專門
X光線科
平町南町
上田外科醫院
電話一二九番